

**問1** 年代別の人口と投票率を分析した統計において、若年層は高齢層に比べて人口が少なく、さらに投票率も低いという実態があります。このような状況を背景に実施された「選挙権年齢の引き下げ」について、その意義を説明したものとして正しいものを選びなさい。（2017年 三重公立入試 類似）

1. 主権者教育を通じて若者が社会の課題を自らの問題として捉え、未来の社会構築に参画する機会を広げること
2. 高齢層の投票を制限し、人口の少ない若年層の意見が選挙結果により強く反映される仕組みを導入すること
3. 投票率が低い世代に罰則を設けることで、すべての年代において均等な投票率を確保すること
4. 公職選挙法の改正により、18歳になれば保護者の同意なく政党を結成できる権利を保障すること

**問2** 日本の衆議院議員総選挙などで採用されている選挙制度について、その特徴を説明した文として正しいものを選択してください。（2026年 兵庫公立入試 類似）

1. 小選挙区制は、1つの選挙区から1人の代表者を選ぶため、大政党に有利になりやすく安定した政権がつけられやすい。
2. 小選挙区制は、得票数に応じて議席を配分するため、死票が少なく多様な意見が政治に反映されやすい。
3. 比例代表制は、1つの選挙区から1人の代表者を選ぶため、特定の候補者に個人得票が集中しやすく政権が安定する。
4. 比例代表制は、小政党が議席を得ることが難しいため、大政党による二大政党制を促進する効果がある。

**問3** 選挙の原則のうち、性別や財産、学歴などによって差別されることなく、すべての有権者が等しく一票を投じる権利を持ち、その価値が同一であることを求める原則を何といいますか。（2025年 岐阜公立入試 類似）

1. 平等選挙
2. 普通選挙
3. 直接選挙
4. 秘密選挙

**問4** 日本の選挙制度の変遷をたどると、かつては「直接国税15円以上を納める25歳以上の男子」といった制限がありました。現在はこうした経済的な条件が撤廃されています。このように、財産による制限を設けずに選挙権を保障する「普通選挙の原則」が重要視されている理由として、最も適切な説明を選びなさい。（2019年 福島県公立入試 類似）

1. 国民が政治に参加する機会を広く確保し、国民主権の原理を実質的なものにするため
2. 有権者が誰に投票したかを秘密にすることで、外部からの干渉を防ぐため
3. 一人の有権者が投じる一票の価値を等しくし、不公平な格差をなくするため
4. 代表者を国民が直接選ぶことで、民意をより正確に政治に反映させるため

**問5** 日本の衆議院議員選挙において、小選挙区制だけでなく比例代表制もあわせて実施している理由として、最も適切な説明を選びなさい。（2017年 大分県公立入試 類似）

1. 小選挙区制では落選者に投げられた「死票」が多くなりやすいため、比例代表制によって少数派の意見も議席に反映させるため。
2. 小選挙区制では候補者が乱立して当選者が決まりにくい。政党の力で当選者を確実に一人に絞り込むため。
3. 選挙にかかる費用を大幅に削減し、特定の大きな政党だけが有利になるように仕組みを整えるため。
4. 地方の声を国政に反映させるために、都道府県知事が推薦する候補者を必ず当選させる枠組みを設けるため。

**問6** 選挙制度の拡大により有権者の割合が増加した一方で、統計上では第1回選挙時の93.7%という高い投票率に対し、近年は50%台にまで低下しているという課題があります。この現代的な課題に対応し、特に若い世代の政治参加を促すために2015年に行われた改革の内容として正しいものを選んでください。（2025年 長野公立入試 類似）

1. 選挙権年齢を20歳以上から18歳以上に引き下げた
2. 被選挙権年齢を衆議院・参議院ともに18歳に引き下げた
3. インターネットによる電子投票を全国で一斉に導入した
4. 投票を行わない場合に罰則を科す義務投票制を採用した

**問7** 日本国憲法が定める選挙の原則のうち、財産や納税額、性別、学歴などによって選挙権を制限せず、一定の年齢に達したすべての国民に参政権を保障する仕組みを何と呼びますか。（2022年 徳島公立入試 類似）

1. 普通選挙
2. 平等選挙
3. 秘密選挙
4. 直接選挙

**問8** 2015年の法改正により、衆議院議員や参議院議員などの選挙において投票できる年齢が「満20歳以上」から「満18歳以上」へと引き下げられました。この選挙権年齢の規定を定めている法律として正しいものを選びなさい。（2017年 茨城県公立入試 類似）

1. 公職選挙法
2. 国家公務員法
3. 地方自治法
4. 政治資金規正法

**問9** 日本の選挙制度における説明として、空欄にあてはまる適切な語句を選びなさい。「得票数に応じて、議席を（ ）に対して配分する制度を比例代表制という。」（2018年 熊本県公立入試 類似）

1. 政党
2. 得票数が1位の候補者個人
3. 各都道府県の知事
4. 最高裁判所裁判官

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 主権者教育を通じて若者が社会の課題を自らの問題として捉え、未来の社会構築に参画する機会を広げること	日本の選挙では、高齢層の人口が多く投票率も高いため、政治が Ako 高齢層の意見に偏りやすい「シルバー民主主義」という言葉も生まれています。18歳への選挙権引き下げは、これからの社会を長く担う若年層が、主権者として自ら政治に参加し、多様な世代の意見をバランスよく反映させる民主主義を実現することを目的としています。これに伴い、学校現場などでの「主権者教育」も重要視されています。
問2	<b>答え 1</b> 小選挙区制は、1つの選挙区から1人の代表者を選ぶため、大政党に有利になりやすく安定した政権がつくられやすい。	小選挙区制は、各選挙区で最も得票の多い1名のみが当選する仕組みです。このため、第1党となった政党が議席の過半数を確保しやすくなり、政権運営が安定するというメリットがあります。一方で、落選者に投じられた票は「死票」となり、少数派の意見が切り捨てられやすいという側面も持っています。
問3	<b>答え 1</b> 平等選挙	有権者が投じる票の価値を等しいものとして扱う原則を平等選挙と呼びます。一定の年齢に達したすべての国民に選挙権を認める「普通選挙」としばしば混同されますが、平等選挙は「一票の重み」を平等にすることを指します。
問4	<b>答え 1</b> 国民が政治に参加する機会を広く確保し、国民主権の原理を実質的なものにするため	かつて行われていた制限選挙は、特定の富裕層のみが政治を動かす仕組みでしたが、現在は「普通選挙」によって、経済力に関わらずすべての国民が主権者として政治に参加できる権利が保障されています。これにより、一部の特権階級ではなく、広く国民全体の意思を政治に反映させることが可能になっています。
問5	<b>答え 1</b> 小選挙区制では落選者に投じられた「死票」が多くなりやすいため、比例代表制によって少数派の意見も議席に反映させるため。	小選挙区制は一つの選挙区から一人のみを選ぶため、第一党が議席を独占しやすく政局が安定するという利点がありますが、当選者以外の候補者に投じられた票がすべて無効（死票）になるという課題があります。比例代表制を並立させることで、得票数に応じた議席配分を行い、小政党の意見や多様な民意を議席に結びつけやすくしています。
問6	<b>答え 1</b> 選挙権年齢を20歳以上から18歳以上に引き下げた	少子高齢化が進む中で、若い世代の意見をより政治に反映させやすくすることを目的に、2015年に公職選挙法が改正されました。これにより、2016年から18歳選挙権が導入されました。有権者の範囲が広がる一方で、投票率の低下（政治的無関心）は依然として民主政治の大きな課題となっています。
問7	<b>答え 1</b> 普通選挙	かつての日本では納税額による制限選挙が行われていましたが、現代の民主主義社会では、一定の年齢（日本では満18歳以上）に達すれば誰でも投票できる仕組みがとられています。これを普通選挙と呼びます。これに対し、1票の価値を等しく扱うことを「平等選挙」、誰に投票したか秘密を保つことを「秘密選挙」、有権者が自分で直接代表者を選ぶことを「直接選挙」といいます。
問8	<b>答え 1</b> 公職選挙法	若者の声を政治により反映させることを目的として、2015年に公職選挙法が改正されました。この改正によって、2016年に行われた参議院議員通常選挙から、18歳・19歳の国民も投票することが可能になりました。日本において選挙権の年齢が変更されるのは、1945年に「25歳以上の男子」から「20歳以上の男女」に拡大されて以来、70年ぶりの出来事でした。
問9	<b>答え 1</b> 政党	比例代表制は、個人の得票ではなく「政党」の得票数（または政党名と候補者名の合計）に基づいて議席を分配する仕組みです。この制度では、あらかじめ政党が作成した名簿に基づいて当選者が決まるため、議席はまず政党に割り当てられます。